



Raspberry Pi Foundation

Raspberry Pi財団セーフガードガイドンス

虐待の認識と報告、報告への対応、および公表事項の取り扱い

1. この文書は、[Raspberry Pi財団セーフガードポリシー](#)と一緒に読みください。このガイドンス文書を読むことに加えて、[無料のセーフガードe-ラーニングモジュール](#)を完了させてください。

さまざまな形態の虐待

2. "虐待とは、個人の人権や市民権が、他の人または人々によって侵害されること" ノーシークレット: 英国保健社会福祉省, 2000。
3. 以下のような様々な虐待のかたちがあります。
 - a. 身体的虐待
 - b. 精神的虐待
 - c. 無視
 - d. 性的虐待
 - e. 家庭内暴力
 - f. 差別的虐待
 - g. 経済的虐待
4. 例えば、いじめ や家庭内暴力は、身体的・精神的な虐待であることが多いのです。
5. 虐待は、大人から子供、子供から子供、大人から大人など、誰にでも行われる可能性があり、虐待的な行動をとる人は、あらゆる背景や立場の人になり得ます。

虐待の兆候を見分ける方法

6. 虐待の兆候は必ずしも明らかではなく、子どもや弱い立場にある人は、自分に何が起きているのかを誰にも言わない可能性もあります。
7. たとえば、次のような場合、その子は虐待を受けている可能性があります。
 - a. 汚れていたり、お腹を減らしていたり、ちゃんとした服を着ていないないことがしばしばある。
 - b. 親や介護者を恐れているように見える
 - c. ひどいあざや怪我がある
 - d. 年齢にそぐわない性的な言動が見られる
 - e. 安全でない、または治療を受けられない状況に放置されている
 - f. いつも貶され、侮辱され、罵られ、屈辱を受けている

- g. 家庭内暴力がある家庭で育てられている
 - h. 深刻な薬物やアルコールの乱用に関わっている両親や介護者との同居している
8. 上記のリストは、児童虐待のすべての可能な兆候を網羅しているわけではありません。他にも気になる行動や状況に気づくことがあるかもしれません。
9. 障害や特別な教育的支援を必要とする人は、虐待のリスクが高くなります。また、虐待を認識したり、声をあげたりすることも少ない。これは、彼らの保護に対するあなたの責任が極めて重要であることを意味します。どんな小さなことでも、心配なことがあれば、いつでもRaspberry Pi財団のセーフガードチームに相談してください。

虐待の兆候や疑いへの対応

10. Raspberry Pi財団の活動に参加する人について、保護に関する懸念がある場合は、すぐに会場のスタッフに報告してください。会場のスタッフが、会場の保護方針に沿った適切な次のステップを案内します。
11. この短いオンライン [セーフガードに関する懸案報告書](#) に記入するか、または safeguarding@raspberrypi.org にメールを送り、あなたが観察したこと、あなたがとった行動について説明してください。24時間以内に担当者からアドバイスのご連絡をさせていただきます。
12. 緊急に相談したい場合は、24時間対応の電話サポートサービスにお電話ください。+44 (0) 800 1337 112(英国内のみ)または+44 (0) 203 6377 112(海外から)。この回線は英語のみで運用されていますのでご注意ください。

虐待の申し立てへの対応

13. Raspberry Pi財団に関係する、またはその活動に参加する成人について、セーフガード上の懸念がある場合、またはそのような通知を受けた場合、あなたは以下のことを行わなければなりません。
- a. 私たちの [セーフガードに関する懸案報告書のフォーム](#) または safeguarding@raspberrypi.org 宛てに電子メールでできるだけ迅速に報告してください。
 - b. 関係する成人がいかなる活動からも撤退するよう、あらゆる合理的な手段を講じること。
14. 緊急のセーフガード上の懸念がある場合は、24時間対応の電話サポートサービスにご連絡ください。+44 (0) 800 1337 112(英国内のみ)または+44 (0) 203 6377 112(海外から)。この回線は英語のみで運用されていますのでご注意ください。
15. あなたについて懸念が生じた場合、クラブ/イベント/活動への参加を中止し、[セーフガードに関する懸案報告書フォーム](#) または safeguarding@raspberrypi.org まで電子メールで直ちにRaspberry Pi財団に通知する必要があります。

子どもまたは弱い立場にある人が虐待について話した(申告した)場合、どのように対応するか

16. 子どもや弱い立場の人が、虐待の詳細や心配なことを打ち明けた場合。
 - a. 事細かに聞いてください
 - b. 事実をつかんでください
 - c. 答えを誘導するような質問をしないようにしてください
 - d. あなたに伝えることで、あなたは何も困っていない、正しいことをしているのだと安心させてあげてください
 - e. この情報を他の大人と共有することを説明してください

17. 言われたことは、できるだけ早く書き留めましょう。合理的な範囲でできるだけ早く、会場のセーフガード担当者に懸案内容を報告してください。彼らは聞いたことをできるだけ正確に書き留めるなど、次のステップを指導してくれるでしょう。

18. この短いオンライン[セーフガード懸案報告書フォーム](#) または safeguarding@raspberrypi.org に、あなたが聞いたこと、あなたが取った行動を記入してください。24時間以内に担当者からアドバイスのご連絡をさせていただきます。

19. 緊急に相談したい場合は、24時間対応の電話サポートサービスにお電話ください。+44 (0) 800 1337 112(英国内のみ)または+44 (0) 203 6377 112(海外から)。この回線は英語のみで運用されていますのでご注意ください。

Raspberry Pi財団の提供情報の取扱い方

20. セーフガードに関する懸念について受け取った情報はすべて、Raspberry Pi財団のセーフガードリーダーによって記録されます。問題の拡大を必要とする場合、報告を受け取ってから24時間以内に、管理委員会のセーフガードリーダーと財団のCEOに報告されます。

21. 私たちはすべての報告を安全にそして機密保持の状態で保管します。

機密保持ポリシー

22. プライバシーと機密性は可能な限り尊重されますが、それによって子どもや弱い立場の人が危険にさらされる場合は、その人の安全が第一です。